

別表1

別表1 米等奪取・打ちこわし対象者

村名	屋号又は名前	職業等	津山騒動記		享保十一年在中騒動書		美国四民乱放記		作陽乱聴記		山中百姓騒動之節扣書	
			奪取米等	打ちこわし	奪取米等	打ちこわし	奪取米等	打ちこわし	奪取米等	打ちこわし	(返還米)	打ちこわし
上福田村	酒屋		米50俵									
下和村	油屋										(米13俵1斗8 升)	
小童谷村	穴戸喜右衛門	大庄屋			米50俵				米50俵			
小童谷村	利右衛門											
三家村	進五左衛門	大庄屋			米60俵				米67俵			
湯本村	玉屋		米300俵								(庭米370表)	
湯本村	横路		米150俵									
湯本村	米屋		米50俵								(米5俵1斗9升7 合5勺)	
小川村	草津屋		米150俵									
真賀村	木地屋										(米2俵6斗)	
岡村	太郎右衛門		蔵米銀諸道具									
新庄村	善兵衛	庄屋		○				○			(米150俵)	
新庄村	平兵衛										(米60表)	
新庄村	六郎兵衛										(米24俵)	
新庄村	与一兵衛										(米16俵)	
新庄村	次郎右衛門										(米60俵)	
美甘村	塚谷屋	酒・質、問屋					米150俵 鉄荷30余束					
高田村	魚屋	酒・油、五穀買取	米100俵									
檉村西谷	利右衛門	庄屋									「押懸押取」	

別表2 山中地域での藩・一揆の行動

別表2

1月	鎮圧部隊の動き			一揆側の動き
	山田文八・三木甚左衛門・山田兵内	山田三之丞・和田仁左衛門	その他	
4日	御用席に出席、意見陳述		鎮圧決定	
5日	搦捕・討捨の許可			
6日	津山出立→久世到着 久世・尾谷屋喜兵衛捕縛		妹尾市内派遣	拾石峠に集結
7日	久世出立→美甘到着→新庄到着 この間田口村で2人捕縛	津山出立→久世到着		徳右衛門ら黒田村へ入る
8日	増援要請。一揆側に申し入れ			美甘に出没（新庄村へ押寄との風聞有り）
9日	山田文八・三木甚左衛門・山田兵内・和田、美甘で対談。暮時文八新庄到着、兵内津山へ出立	（同左、美甘に泊）	北郷・沖・山田兵蔵 津山出立 三之丞へ鉄砲15挺遣わす	徳右衛門一札（無法しないことなど）提出
10日	兵内、上河内村で北郷らと出会、鉄砲10挺受取、久世→美甘→新庄へ 文八・三木、新庄で3人捕縛 新庄村・美甘村状着に内通促し成功 美甘村状着宅に泊	暮時兵内から鉄砲受取	上河内村で兵内と出会→久世へ 岡政右衛門津山出立→久世へ	黒田村の集結を解く。徳右衛門も上岸村から在所へ引き取ったとの注進有り 徳右衛門久見河原集結の廻状出す 東茅部村七左衛門ら黒田村へ→引取、上徳山村集結の廻状出す。 野土路越・黒田越に遠見の百姓を出す
11日	文八・三木、美甘から新庄へ			（半信半疑にて村々ためらい）
12日	5人打首 美甘到着、和田らと対談、美甘出立	文八らの「跡壺里計」を進む	北郷ら山中へ向かう	土居河原集結の廻状を出す但人数集まらず 徳右衛門ら土居村泊
13日	明け方三家村大庄屋宅に到着、土居村で32人捕縛 夕方25人打首		昼までに小川村へ到着	土居村にて徳右衛門・東茅部村喜平次以下32人捕縛、夕方25人打首

別表3 島原・天草一揆以降18世紀前半までの百姓一揆等刑死者数（10人以上） **別表3**

年代	国	領分	形態	刑死者数	備考
享保3（1718）	安芸・備後	広島藩	強訴	49～65人	
享保11（1726）	美作	津山藩	強訴ほか	50～52人	山中一揆
享保7（1722）	越後	幕府領	越訴ほか	30人	越後質地騒動
貞享3（1686）	信濃	松本藩	強訴	28人	加助騒動
元文4（1739）	因幡・伯耆	鳥取藩	強訴	20人	
延宝4（1676）	上野	館林藩	越訴	18人	
寛文4（1664）	伊予	西条藩	訴願	16人	
正徳2（1712）	加賀	大聖寺藩	強訴	15人	
延宝2（1674）	肥後	熊本藩	蜂起未遂	13人	地侍中心、鉄砲も揃える
寛延3（1750）	讃岐	丸亀藩・多度津藩	強訴	12人	
寛延3（1750）	肥前	佐賀藩	強訴・越訴	11人	諫早氏知行所
延宝5（1677）	出羽	旗本領	越訴	10人	生駒氏知行所

参考文献：保坂智ほか編『百姓一揆事典』民衆社

別表4 美作と安芸、備後、伯耆、因幡、播磨の百姓一揆等の刑死者数

別表4

		国	郡	藩	形態	推定参加者	死罪
元禄11	1698	美作	東北条郡ほか	津山藩	強訴※	500人	8人
享保2	1717	因幡・伯耆	(8郡)	鳥取藩	強訴	4000人以上	0人
享保2	1717	備後	沼隈郡ほか	福山藩	強訴	6000人以上	0人
享保3	1718	備後	恵蘇郡ほか	三次藩	強訴・打ちこわし	5000人以上	7人?
享保3	1718	備中	下道郡	岡田藩	(越訴)		4人
享保3	1718	安芸・備後	(14郡)	広島藩	強訴・打ちこわし		65人(注1)
享保11	1725	美作	真島・大庭郡外	津山藩	強訴・打ちこわし	3000人以上	50～52人
元文元	1736	備後	甲奴・神石郡	幕府領	強訴	6000人以上	4人以上
元文4	1739	因幡・伯耆	八東郡ほか	鳥取藩	強訴・打ちこわし	数万人?	20人
元文4	1739	美作	勝北郡	幕府領	徒党(押乞)	2000人	2人
元文4	1739	播磨	佐用郡	旗本松井氏	強訴		1人
寛延元	1748	播磨	印南郡ほか	姫路藩	強訴・打ちこわし	1000人以上	7人
天明6	1786	備後	恵蘇郡ほか	広島藩	強訴	5000人以上	2人
天明6	1786	伯耆	汗入郡ほか	大山寺領	強訴		?
天明6	1786	備後	品治郡ほか	福山藩	強訴		0人
文政8	1825	美作	吉野郡ほか	津山藩・幕府領	強訴・打ちこわし		0人
天保4	1833	播磨・丹波	(6郡)	幕府領ほか	打ちこわし	3116人	2人
嘉永元	1848	播磨	揖東郡ほか	龍野藩	強訴・打ちこわし	3000人以上	0人
慶応2	1866	美作	東北条郡ほか	津山藩	強訴・打ちこわし		0人
慶応3	1867	備後	恵蘇郡	広島藩	強訴・打ちこわし	5000人	0人

※『百姓一揆事典』(深谷克己監修、民衆社、2004年)より作成。

(注1)『広島県史』などでは、49人となっている。